



「エッセンシャル有機化学」 第10刷正誤表

位置	誤	正
191頁3.44	シクロペプタノンから 2-ベンゾイルシクロペプタノン	シクロヘプタノンから 2-ベンゾイルシクロヘプタノン
283頁2.6(d)	3-ethylhex-5-en-1-yne	4-ethyl-1-hexen-5-yne (4-ethylhex-1-en-5-yne)
283頁2.6(f)	4-bromo-2-methylpentane	2-bromo-4-methylpentane
283頁2.6(i)	1-phenyl-2-methylpropane	2-methyl-1-phenylpropane [2-(methylpropyl)benzene]
283頁3.1(a)	4,4-ジエチル-9-メチルデカン	7,7-ジエチル-2-メチルデカン
283頁3.1(b)	4-プロピル-2,3,5-トリメチルヘプタン	2,3,5-トリメチル-4-プロピルヘプタン
283頁3.2(f)		
285頁3.15	メチル基により影響されない。	メチル基によりあまり影響されない。
285頁3.17(b)	一つの分子が I <sup>+</sup> と反応すれば、二つの分子がラセミ化する。	一つの分子が I <sup>+</sup> と反応し立体反転生成物を与えると、結果として二つの分子がラセミ化したことになる。
285頁3.23(b)	ができないため。	Ph <sup>+</sup> ができないため。
287頁3.36	ベンザインを経由する反応。	アミドイオンによる脱臭化水素により、二つの基質は同一のベンザイン中間体を生成するが、これに続くアミドイオンの付加も位置選択的に起こり、 <i>m</i> -アミノアニソールのみが得られる(メキシ基のカルバニオン安定化効果)。
287頁3.44	シクロペプタノンと……塩化ベンゾイルとを反応させる。	シクロヘプタノンと……塩化ベンゾイルとを反応させた後、加水分解する。
288頁3.58	水素-ジユウテリウム交換; PhCHDS(O)CH <sub>3</sub> と PhCD <sub>2</sub> S(O)CH <sub>3</sub> の選択的生成	ベンジル位水素;フェニル基によるカルバニオンの共鳴安定化効果
289頁7.4(a)	1:2:2:1	1:3:3:1
289頁7.4(b)	4重線 1:2:2:1	7重線 1:6:15:20:16:6:1
289頁7.4(c)	1:2:2:1	1:3:3:1
289頁7.4(e)	4重線 1:2:2:1	10重線 (省略)
289頁7.4(f)	1:2:2:1	1:3:3:1
289頁7.6(b)	